



2023.7.29 みんなで学ぶいのちの教室 低学年

アンケート結果

コロナ感染症が第5分類になり、初めてのいのちの教室でした。
実施後にアンケートをお願いいたしました。ご協力ありがとうございました。



今回の参加者8組
1年生3名/2年生2名/
3年生3名
男子3名/女子5名

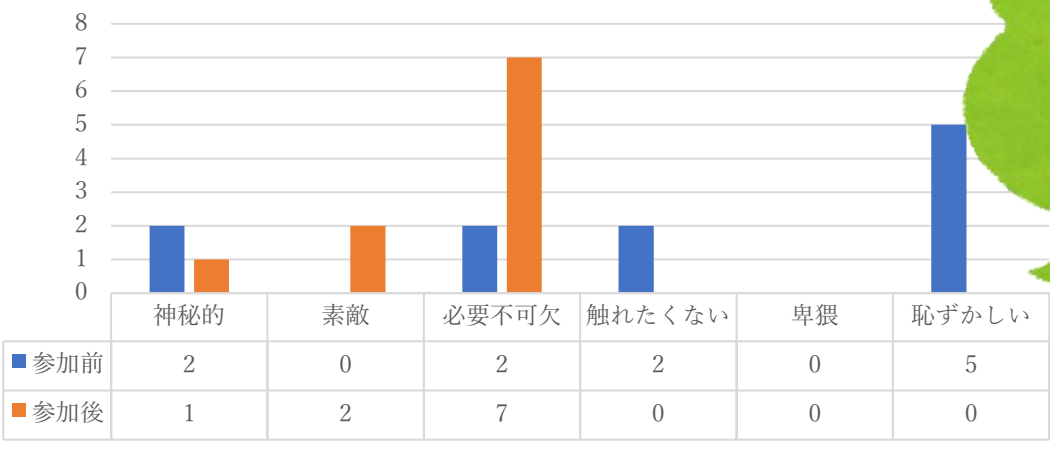


子ども達は、ほぼ全員が「よくわかった」との感想。一部、「ヒトの性・性別」や「プライベートゾーン」については「難しかった」印象を持った子もいました。
「体験学習」が一番人気でした

今回の教室の内容
「ヒトの性・性別について」
「生命誕生について」
「いのちの大切さについて」
「(保護者対象)性教育のポイント・座談会」
「(子ども対象)体験学習」



保護者の性に対する印象



教室に参加して性に関する印象に変化がありました！性教育への苦手意識・抵抗感が変わるきっかけになるでしょう

■参加前 ■参加後

「ヒトの性・性別について」

理由（一部要約）：

- ・どのように伝えたらいいのか参考になった。
- ・「女の子だから」と決めつけていたところがあると気づけた。
- ・プライベートゾーンについて

自分でも話していたが、
いまいちわかっていない様だった。
今回の説明で子どもが少しでも
わかってくれたら・・・と思った。

「いのちの大切さ」

理由（一部要約）：

- ・「いのちは一つしかない」という説明が子どもにわかりやすく、理解しやすかったと思った

保護者様が一番印象に残った内容は、

「生命誕生について」 4名

「ヒトの性・性別について」 2名

「いのちの大切さ」 2名

「生命誕生について」

理由（一部要約）：

- ・子どもに「赤ちゃんはどうして出来るのか？」と聞かれて、どう伝えたらいいのか悩んでいたのが、わかりやすく伝えてもらえた。
- ・「自分がどうやって生まれてきたのか」の話を聞いて、目で見て、子どもが興味関心を持ってくれたように思う。
- ・狭いところを通して生まれてくる体験がとても良かった。
- ・赤ちゃんが出来る過程をわかりやすく伝えてくれた。

実施を終えて

今回は、子ども達が積極的に参加してくれたことが何より印象的でした。
クイズなどを一生懸命考えたり、メモを残していたり、
体験では、生まれてくることの大変さを感じた子がありました。
保護者の方に、生まれてきたことの感謝・労いの言葉をかけた子もいました。
子ども達のアンケートより、
1年生と3年生では理解度に差が出る可能性は改めて感じました。

保護者の方々とは、時代を感じさせる「YouTube 視聴に関する話題」や
「子どもの性への関心に対しての接し方」、「プライベートゾーンの取り扱い」な
どの日ごろの悩みを共有する時間を持つことも出来ました。

どのように伝えたらよいのか？
どうしたらいいのか？
保護者の方の性に対する認識もある中で、
戸惑うことがたくさんある事がわかりました。

今回の教室をきっかけに是非、子どもたちの成長に合わせ、少しずついいので、
お家でもいのちや性についてお話をしていってもらえたらと思います。

子ども達の集中力をいかに維持してもらおうか、
わかりやすく伝えていけるか、など試行錯誤する中で、
子ども達がたくさんの事を吸収してくれたなら、
本当に実施して良かったと思います。

規模の小さい学びの場ではありますが、少しでも役に立つことがあればいいな。
と思いながら、これからも実施していきたいと思います。

皆さまからの貴重なお言葉ありがとうございました。

2023.7.29

浜田病院 いのちの教室チーム